



8 月の展示情報

夏も多彩な展示が盛りだくさんです。

全戸配布

2025
8 月号

芸術村から

8 月の休館日

定例休館日（月）（火）

4（月）、5（火）
12（火）
18（月）、19（火）
25（月）、26（火）

11（月・祝）および
お盆期間中は休まず
開館します。

開館時間：10:00-17:00
入館料：町民無料
＊町外の方
大人 300 円 / 小人 100 円
未就学児は無料

アーティスト滞在日記

開催中
～8/31（日）

星蒼来 個展
「わたしは きいろ」

アーティストとして作品を発表し続ける星蒼来さんの個展。黄色やひまわりが大好きな彼女は、今回、黄色をメインカラーに据えた世界観を展開しています。



“わたしを構成するもの”をテーマとして、今回、書き下ろし作品、過去の作品も含む絵画と、立体作品など全 13 作品が展示されています。

カラフルでありながら、じんわりと心にしみこむ優しさをもつ彼女の展示は、絵本のページをめくるような体験です。

来場者をつくる参加型作品もありますので、ぜひ足を運んでみてください。

8/9（土）
～9/7（日）

阿部文香・鈴木竜一朗・野宮有姫
作品展 やまのめ

本展は、現代アーティスト・阿部文香さんによるインスタレーション作品を中心に構成され、この作品に呼応するかたちで、写真家・鈴木竜一朗と詩人・野宮有姫が参加。制作の過程や対話を通じて生まれた写真や詩を通じて、作品に新たな視点を重ねてゆく展示です。



阿部さんは、生物の水晶体をレンズとして用い、毛皮や西会津で採集した植物を素材に、独自の手法を用いて、写真をはじめとした視覚表現の実験を行っており、こうした試みがどのように作品に昇華されるのか、楽しみです。

8/11（月・祝）には、オープニングイベントを予定しています。

開催中
～9/15（月・祝）

西会津国際芸術村・寄贈作品展
「青の夏」展

2024 年 3 月に伊藤善創氏（西会津町野沢出身）から西会津町に寄贈された作品群の中から、涼やかな青をテーマにセレクトした寄贈作品展が開催中です。



寄贈された作品は、80 点あまりあり、その中からシャガール、ピカソ、マチスなどの作品全 15 点が展示されています。

青などの寒色系の色彩は、視覚的に涼しさを感じさせ、副交感神経を優位にし、リラックス効果があると言われています。

世界的なアーティストの多彩な「青」にふれ、涼を感じる展示はいかがでしょうか。

開催中
～9/15（月・祝）

William Josh Beck 滞在制作作品展
聴く岩 Listening stones

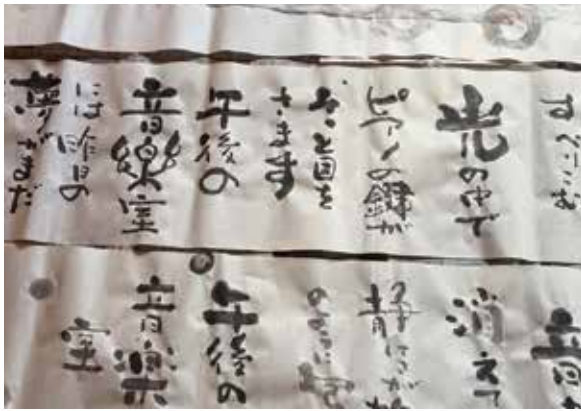
7/4 から約 3 週間滞在した William Josh Beck さんの作品展示。本展示は、墨による抽象画「墨象」を用いたサウンドアートとビジュアルアートの交差点に位置するプロジェクト。



日本文化における石の重要性とその神聖な存在に着想を得て「石が聴いているもの」を明らかにするという発想のもと、石が置かれている環境の音を録音し、それを可視化する試みです。「見えるもの」ではなく、「聴こえるもの」を表現するアーティストが西会津で聴いた音をぜひ、鑑賞しにいらしてください。



作：William Josh Beck



作：鈴木蕙紅



制作風景

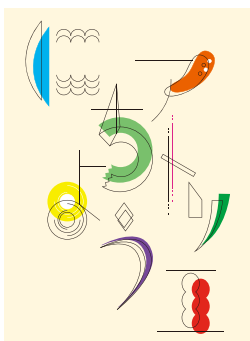
ウィリアムさんからの提案で、鈴木蕙紅さんの好きな曲を聴きながら、作品制作をすることになりました。選んだ曲は、ゴンチチ「放課後の音楽室」。

芸術村のじぶんカフェで、ウィリアムさんは曲を聴きながら、鈴木さんは心の中に流れる曲を形にする方法でひたすらに音と墨に向き合う時間を過ごし、沢山の素晴らしい作品が生まれました。



7 月半ば、滞在中のウィリアムジョシュベックさんと町内在住の書道家・鈴木蕙紅さんとのアートワークセッションが行われました。墨による抽象画「墨象」により音を視覚化するウィリアムさんと、「書」という分野を中心にした表現を広げる鈴木蕙紅さん。二人とも墨という共通の素材を用いるアーティストです。

ウィリアムさんからの提案で、鈴木蕙紅さんの好きな曲を聴きながら、作品制作をすることになりました。



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

そして子どもたちを導いてくれたアンヌさんとシルヴィーさん、ありがとうございました。
さて、今年の夏休み期間中にはにちようアトリエをおやすみとさせて頂くこととなりました。代わりに、どっぶり浸かれる2日間のアトリエを開催します。テーマは音楽。集中とワクワクが交錯する時間を作りたいと思います。詳細は芸術村HPまたはSNSにも掲載しています。ご参加お待ちしております！



7月6日のアトリエは特別回「滞在アーティストさんと一緒に制作！」、フランスから来ていたアンヌさんとシルヴィーさんによるワークショップを開催しました。内容は、芸術村の周りの自然から、気になった色や形・手触りのものを集めて、山のかみさまへの捧げものをつくらう、というもの。最初は賑やかだった子どもたちが、そこに在る自然に少しづつチューニングを合わせていき、制作の段階ではものすごく集中していました。制作が終わって「疲れた・・・」の声も。それほどまでに気持ちを注ぎ込んでくれたということでしょう。やつぱり子どもはすごい！

7月のアトリエ

にちようアトリエ 8月予定表

問合せ／0241(47)3200 西会津国際芸術村

【日時】
2025 年
8月6・7日
(水・木)
10:00～16:00

【場所】
西会津
国際
芸術村

【参加費】
2,000 円
＊6日の受付時に
お持ちください

【対象】
小学生（定員 15 名）
＊二日間参加できる方

【申込み】
7月30日
申込締切

【内容】
音からのイメージで描く遊び
と
演奏家を描くチャレンジ

【持ち物】
・水筒
・帽子
・着替え
・汗ふきタオル
・学校で使っている
絵の具
・昼食
(別料金にて
申込時に注文可)

【その他】
●水彩絵の具以外の道具（画用紙など）はこちらで用意します。
●出来上がった作品は、夏休みの宿題に対応できる内容にする予定です。
●活動時間のうち、15:00 からは「夏のおやつタイム」です。お住事の都合等で 16:00 にお迎えが難しい場合はご相談ください。

QRコード: <https://forms.gle/vW4p9hCoup2Q08>

おんがく ザビじゅつ リズムにのって、描いちゃおう！

夏もアトリエ

【アトリエの
おとなたち】

スタッフおすすめ 今月の本



この本は、「じぶんカフェ」にて
お読みいただけます。

かっぱ語録

著：谷川俊太郎・覚 和歌子
出版：角川春樹事務所

芸術村スタッフがオススメの本をご紹介。谷川俊太郎さんの詩作から、自薦他薦を含む 78 の言葉をご紹介します本書。
谷川さんのつづる言葉はひとつづきで読んでも、その断片を味わっても、心の中でいきいきと広がり、優しい風をふかせてくれます。
覚和歌子さんによる解説が添えられており、その言葉をさらに味わい、理解することができます。詩の言葉にどれほどの思いが込められているかを垣間見ることが出来る本書は、どのページからも、サラリと読める心の清涼剤としてもオススメです。



みなさん、今年の梅仕事はどうでしたか？今年、全国的に不作だったと言われていますが、梅干し、シロップなど毎年つくるものは仕込むことができました。

今年、はじめて作ってみたのが、こちら「梅ダージリン」。料理家の方が考案した梅仕事を気軽に楽しむメニューとして、大人気のことで、私も作ってみました。梅のコンポート紅茶風味といった

ところなのですが、これが、簡単な上にため息の出るような美味しさなのです。

梅の実実はコンポートとして食べ、煮汁はソーダで割って楽しめます。

余った梅で作りましたが、あっという間になくなりました。来年はもっと沢山作るぞー！



インスタ日記



連日の猛暑、芸術村の館内もなかなかの暑さです。そんな中、先月初めに終了した石川宣彦さんの写真展より、飯豊山の写真パネルを現在、じぶんカフェにてご覧いただくことができます。

飯豊山の真っ白い雪に美しい夕映えは、視覚から涼を感じさせてくれます。展示をご覧になった後は、じぶんカフェで涼んでくださいね。

【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】



＊醤油や青じそなどの薬味をプラスしても美味しいです。

【材料】とつるこし1本、米2合、塩小さじ1と1/2、オリーブオイル大さじ1



こんな食べ方がオススメ
むくみもスッキリ
とつるこしご飯（2〜3人分）

夏野菜の人気ナンバーワン！大人も子どもも、大好きなトウモロコシ。消化器を整え、余分な水分を排出する作用があると言われます。胃腸の働きが弱っている時や、むくみや疲れのあるときにオススメ。特に、トウモロコシのヒゲは利尿作用にすぐれ、乾燥させ、お茶として飲んだりスープに加えて活用することもできます。

マワリテメクハ
＊季節の薬膳ノート＊
「トウモロコシ」



【お問い合わせ】tel：0241-47-3200
mail：niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752